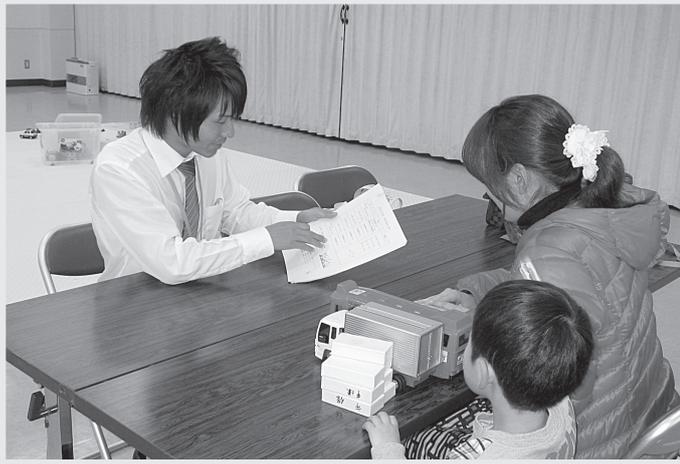


- ◇本庁舎 八幡小路7-1
☎② 1111/Fax ⑦ 2577
- ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2
☎③② 2111/Fax ③② 2234
- ◇大信庁舎 大信増見字北田58
☎④⑥ 2111/Fax ④⑥ 2409
- ◇東庁舎 東釜子字殿田表50
☎③④ 2111/Fax ③④ 3584



ガラスバッジの測定結果

◁個別相談の様子（中央保健センター）

外部被ばく線量は減少傾向

市では、中学生以下の子どもを対象に、これまで3回にわたりガラスバッジ（放射線個人積算線量計）を配付し、個人が受けた放射線量（外部被ばく量）の把握に努めました。この調査による9か月間の個人積算線量の結果をお知らせします。

1. 測定結果

①線量別分布割合

線量	1回目		2回目		3回目	
	人	%	人	%	人	%
0.1未満	245	2.5	651	6.7	1,322	15.0
0.1	3,776	38.8	5,110	52.5	5,966	67.7
0.2	4,207	43.2	3,177	32.7	1,311	14.8
0.3	1,183	12.1	620	6.4	175	2.0
0.4	241	2.5	129	1.3	27	0.3
0.5以上	85	0.9	39	0.4	17	0.2
全体	9,737	100	9,726	100	8,818	100

②地域別平均値

(単位: mSv)

地域	1回目	2回目	3回目
白河	0.18	0.15	0.11
表郷	0.13	0.11	0.09
大信	0.25	0.21	0.15
東	0.11	0.10	0.07
全体	0.18	0.14	0.11

＜測定期間（各3か月間）＞

- 1回目 平成23年8月1日～10月31日
- 2回目 平成23年11月1日～平成24年1月31日
- 3回目 平成24年7月19日～10月18日

2. 専門家の意見

＜徳島大学「ふくしま、とくしま、共に歩もう」白河支援プロジェクト・放射線防護担当 佐瀬卓也氏＞

3回の測定結果から、皆さんが日々生活する場所には、著しく線量の高い「ホットスポット」が存在しないこと、高い放射線量の場所で知らないうちに生活していたというようなことはなかったことが確認でき、安堵しています。

一部地域では、年間追加被ばく線量は1mSvを超えることが推定されるものの、前年度と比べ外部被ばく線量は減少していて、生活に支障がない値になってきたことを実感しています。

県南地域は、震災前の一般的な生活（日常生活、食生活、外遊びなど）を普段どおり送っても健康に問題はないと判断できます。ただし、野生のきのこや一部の山菜類、それらを食べた野生動物等には、いまだに汚染が残っているものもありますので、これらを摂取したり流通させるには、検査により安全を確認することが必要です。

安全に安心して暮らせるよう、これからも一丸となって頑張っていきましょう。

●個別相談・問い合わせ先

本庁舎健康増進課（中央保健センター） ☎⑦2112